

【問題】

次の形式で、テスト手順書兼実行結果記入シートが準備されています。あなたはテスト実行管理者として、テスト実行担当者にテスト結果記入内容の周知事項を作成します。

<テスト手順書兼実行結果記入シート中の項目、および記入様式>

- ・ テストケース No.
 - ・ テスト内容 テスト内容の大、中、小項目
 - ・ 事前条件 テスト実行時の事前条件
 - ・ テスト手順 テスト実行手順
 - ・ 期待結果 テスト実行後の期待結果
- (以下、テスト結果記入項目)
- ・ 実行結果 以下の項目のいずれかを選択
 - 空白 未実施項目
 - OK 期待結果を得られた項目
 - NG 期待結果を得られなかった項目
 - Skip 不具合によってテスト実行が出来ない項目
 - Pending 質問回答待ちで結果を判定出来ない項目
 - N/A 仕様変更等によりテスト対象外となった項目
 - ・ 実行日 yyyy/mm/dd 形式の日付
 - ・ 実行 Ver. 実行バージョン数値
 - ・ 実行者 氏名 (文字列)
 - ・ 不具合 No. 不具合番号数値
 - ・ コメント 文字列

テスト結果記入項目に関して、テスト実行担当者別の記入内容に差異が発生しないよう、予め想定される状況を抽出し、その場合の記入方法を周知させようと思います。

実行結果が OK ではあるが、コメントを入力する必要がある場合として、どのような状況が想定されるかを4種類挙げてください。

注：想定される状況は、全て「～の場合」の形式で挙げてください

【各ファイルの説明】**<問題フォルダ中のファイル>**

なし (本問題ファイルのみ)

<解答フォルダ中のファイル>

- 1) 解答 L2-01.ods 解答記入用ファイル
- 以上

解答記載シート:問題L2-01

No.	想定される状況
1	実行結果はOKではあるが、手順とは別の不具合が発生した場合
2	実行結果はOKではあるが、期待結果に加えて確認をした場合
3	実行結果はOKではあるが、特殊なツールor環境or機器を使用した場合
4	実行結果はOKではあるが、期待結果が間違っていたため、テスト設計者に期待値を確認し条件付きOKとする場合
5	実行結果はOKではあるが、テスト実行手順に支障がでないほどの齟齬がある場合
6	不具合が修正されNGからOKとなった場合
7	テストケースの解釈に対する質問が回答され、PendingからOKIになった場合